



全員演奏

柱野小学校

懇親会

M. C. ペリー
エレメンタリースクール

2月15日、米海兵隊岩国基地の周辺住民と在日米軍人・軍属およびその家族との相互理解や交流を深めようと「IWAKUNI NI 日米交流合同コンサート」がシンフォニア岩国で開催されました。

今年で4回目となるコンサートには、平田中学校、小方中学校（大竹市）、安下庄中学校（周防大島町）、柱野小学校、和木小学校、M. C. ペリー・ハイスクール、M. C. ペリー・エレメンタリースクールの児童生徒約180人がス

IWAKUNI 日米交流合同コンサート

ステージに立ち、吹奏楽や太鼓演奏などを披露しました。

柱野小学校の児童は、高学年から低学年へと20年以上継承している「柱野太鼓」を熱演し、平田中学校生徒は「輝く仲間豊かな音楽 呼ぶ感動」をモットーに練習してきた成果を、十分に発揮していました。

コンサート後には懇親会が開かれ、日米相互の子どもたちなどが和やかに交流していました。

岡基地政策課 ☎ 295024
学校教育課 ☎ 295204

日米の友情を育む

市政 PICK-UP



▲大勢の観客の熱気に包まれた会場

地域で協力して見守る

認知症高齢者の見守り体制づくりを推進するために、2月14日、岩国市と市内の金融機関や運輸業者など31の企業・団体で「高齢者等見守り活動に関する協定」を締結しました。

協定を締結した事業者は、日常業務の中で高齢者を見守り、徘徊など高齢者の異変を察知した場合には地域包括支援センターに状況報告をし、認知症の正しい知識の普及・啓発への協力などを行います。



▲協定書に署名する福田良彦市長(右)と神尾透 J A 山口東代表理事組合長(左)

認知症高齢者の見守り支援協議会

また同日、シンフォニア岩国で「岩国市認知症高齢者の見守り支援協議会」が活動報告会を開き、専門医による認知症に関する講演や、認知症高齢者への接し方を説明する寸劇を披露しました。寸劇では、認知症高齢者が病院に行きたがらないなど家族の苦労や病院に連れて行くコツ、地域の協力の必要性などを紹介していました。

☎ 2566
 岡地域包括支援センター



▲認知症高齢者への対応の仕方を寸劇で説明



▲参議院外交防衛委員会の委員に説明する福田市長

市長と意見交換

生活を守る立場から言うべきことは言うとの姿勢でいろいろな対策を国と協議している」と述べ、また、住宅防音工事の区域拡大なども要望しました。

意見交換終了後、末松信介委員長は「空中給油機の移駐受け入れなど、沖縄の負担を軽減したいという福田市長の気持ちに応えられるよう、騒音対策など精いっぱい支援していきたい」と思いを話しました。

岡基地政策課 ☎ 5024

2月24日、参議院外交防衛委員会の委員11人が「在日米軍再編および我が国の防衛等に関する実情調査」を目的に、岩国基地を視察した後、福田良彦市長などと意見交換をするために市役所を訪れました。

福田市長は、海上自衛隊の岩国残留やKC-130空中給油機の移駐など、米軍再編に伴うこれまでの経緯を説明し「基地負担の中、国の防衛政策には協力してきた。その一方で、市民

参議院外交防衛委員会委員来岩



▲意見交換であいさつする末松委員長